

# 職場体験学習 久居中学の生徒が交通救助訓練に挑戦 久居署



油圧カッター準備よ～し!

去る十月一日から三日間、久居消防署(鈴木哲男署長)において、久居中学二年生十四名を対象に職場体験学習が実施されました。

訓練では久居署員の熱のこもった指導のもと、礼式訓練を皮切りに、ホース延長、放水訓練、水消火器による初期消火、煙体験、救助ロープ訓練、救助・救急資器材取り扱い訓練など、また普通救命講習では修了証も取得しました。

訓練の中で、体力的にきつかったものを尋ねると、「放水訓練での水の反動力は想像以上の体力がいることがわかりました。」と答えていました。

また、大型油圧式救助資器材(カッターやスプレッター)での交通救助訓練では、廃車の乗用車を使用して、本番さながら真剣な表情で訓練に取り組んでいました。将来、この中から何人の消防士が誕生するかとても楽しみです。

**雲出地区**  
**総合フェア」に参加**  
**防災 交通安全 ふれあいテーマ**  
**南分署**

そよ風が心地よい澄み切った秋空の下、十月二十一日に雲出小学校運動場にて、雲出地区社会福祉協議会と同地区交通安全推進協議会が主催(津南地区交通安全協会共催)して、歴史ある交通フェア単独事業を発展的に解消し、新しい事業として、「防災、交通安全、ふれあい」をテーマに、防災、交通安全意識の高揚を図り、あわせて地域住民の交流と親睦を目的として、「雲出地区総合フェア」が盛大に開催されました。

最初のアトラクションでは、「よさこい風雲乱舞」につづき、「津市消防音楽隊」の演奏も披露され、体験コーナーでは、南分署津田伊三次分署長と津消防団雲出分団(原田重芳分団長)の指導による煙体験、水消火器による初期消火、衣服や毛布、また竹を使ったいざというときの応急担架の作成方法などが行われ、参加した女性も自ら自分の服で応急担架を作成していました。

展示コーナーでは、久居署から四十五メートルの梯子車隊が応援に駆けつけ、ミニ防火服に身を包んだちびっ子消防隊が梯子車のバ

スケットに乗り込んで笑顔で記念撮影していました。



また、地域ふれあいミニ運動会では、靴飛ばしやパン食い競争などの他に、子供からお年寄りまで

が協力しての防災バケツリレーが二チームに分かれて行われました。競技のバケツリレーとなると、みんなが真剣そのもので相手チームに負けてたまるかという表情と行動が参加者から伝わってきました。

今日のイベントを通じて、地域住民のみなさんが、少しでも危機管理能力を身につけて、防災や交通安全などに役立てられたら幸いです。

## 解体建物で

## 消防活動訓練を展開

栄町四丁目のグランパールあさあけ(結婚式場・宿泊施設)が、

中消防署



屋内進入 準備よ～し!

施設などの老朽化に伴い九月に解体されることから、中消防署(永井久雄署長)では八月二十五日から同月三十一日の期間に解体前の建物を使用して、実際の火災系救助事業などを想定した消防活動訓練が本番さながらに行われました。

訓練では各署所から消防隊員が集結、煙を充満させて多数の逃げ遅れ者を設定し、ドアやシャッターを破壊器具で切断して屋内進入するなどの想定で訓練を開始。消防訓練塔とは異なり、実際の火災・救急・救助などでは、一つとして同様の現場はありません。このように消防活動では、現場到着後、災害の実態を即時把握し、「人命危険・延焼危険・活動危険」を常に念頭において活動しなければなりません。

この解体建物の火災救助訓練に参加した若手署員は、「初めて経験した事もあり、失敗して時間を要した場面もあったが、訓練でよかったです。本番ではミスが許されませんから。」と今後の課題など、

市民の信頼にこたえるべく、参加した署員は決意を新たにしました。